

えひめ 地域づくり協働体通信

朝、夕の涼しさに秋の気配を感じる季節となりました。
第4号では、西予市の遊子川地区と川津南地区の活動を紹介します。
皆さまの地域活動の参考にしていただければ幸いです。



西予市遊子川地区

キーワード：交流人口拡大、地域連携・協働

地区の皆さんと遊子川を訪れたお客様の交流は
自己紹介から始まりました



●地区を訪れたお客さまに遊子川の良さをアピール

6月6日、地域の良さを知ってもらうため、「遊子川グリーンツーリズム推進委員会」が実施したイベントに、地区外から約20名のお客さまが参加しました。地元女性を中心となり運営する食堂「ゆすかわ」で地元産品を使った昼食を味わった後、同地区で一番標高が高く、朝夕の寒暖差により、甘くて栄養価も抜群のトマトが収穫できるトマトハウスで苗の定植作業をしました。また、地区の名勝巡りや夜の蛍鑑賞も行いました。当日は「遊子川もりあげ隊」の方々が中心となっておもてなしをし、皆さんと一緒に自己紹介、定植作業を行いながら交流を深めていました。

●住民参加による地区景勝地付近の清掃活動

西予市城川町と高知県との境界付近にある標高1,111mの雨包山^{あまつみやま}。この山頂付近は、7月にかけてツルアジサイやヤマアジサイなど、珍しい植物を見ることができるエリアです。6月21日、「遊子川もりあげ隊」役員のボランティア約20名が参加し、登山口トイレ付近から展望台まで続く林道の草刈りを、日差しの強い中、額から汗を落としながら行いました。作業終了後は、「これで大勢の方が気持ちよく訪れていただけるようになった」と皆さん喜んでいました。

★詳しくは、遊子川もりあげ隊ホームページ
(<http://yusukawamoriagetai.com>) をご覧ください。



林道の草刈りが行われ、山並みにエンジン音が響いていました

ここがポイント 「遊子川もりあげ隊」の活動について

Q「遊子川もりあげ隊」とはどのような組織ですか？

A 少子高齢化などで、このまま何もしなければ地域が立ち行かなくなるかもしれません。「遊子川もりあげ隊」は、こうした遊子川の現状を打破し、遊子川の明るい未来を築きあげることを目的として22年8月に設置された地域活性化組織です。会員は遊子川地区住民全員で構成され、住民主体の地域づくりに積極的に取り組んでいます。

Q活動を始めてどのようなことが変わりましたか？

A 住民参加の総会で地域づくり活動を計画します。このため行事への住民の方の参加が増えました。そして「ここはこんなにした方がいいね」といった声が聞かれるようになり、これまでより積極的に参加にしていけるようになりました。

Q活動を続けるための課題はどのようなことですか？

A 地区住民にできることには限りがありますので、地区外の方が参加できる地域づくりを考えています。



遊子川もりあげ隊長
勇 眞喜男さん



地区の皆さんが参加する伝統行事、女性は炊き出しに大忙しでした

●地元小学生も参加し楽念仏踊りが行われました

8月2日、西予市川津南地区にある西方寺で、西予市指定無形民俗文化財「川津南楽念仏踊り」が行われました。楽念仏踊りは、旧城川町内各地で行なわれていましたが、その多くが戦後廃止となりました。しかし、川津南地区では地区の皆さんの地道な活動により現在まで保存伝承されています。この踊りは今年亡くなられた方の法要に合わせて行われる念仏踊りで、揃いの衣装の大人が小学生達に鉦の使い方を手ほどきしながら、太鼓に合せ鉦を奏していました。伝統文化を次代に残す地区の活動から、皆さんの地元に対する愛着心を感じました。

ここがポイント 川津南地区の伝統文化継承活動について

Q川津南地区での伝統文化継承活動組織についてご紹介下さい。

A「川津南やっちみる会」の組織の一つとして「川津南楽念仏保存伝承委員会」があり、平成23年度に国の文化芸術振興事業を取り組んだ際に発足した組織です。

Qどのような活動を行っていますか？

A念仏踊りは、特徴的で習得することが難しいと言われていたため、保存伝承委員会では、経験の浅い地域内の若者、小中学生、保育所児童等の練習機会を確保し、後継者の指導と育成に取り組んでいます。

Q伝統文化継承の難しさはどのようなことですか？

A過疎化による人口減少と、熟練楽士の高齢化に伴う後継者不足のため、念仏楽士の確保が難しいですが、数少ない地域の後継者と、特に1・Uターン者の理解と協力により継続できています

Qこれまで行ってきた活動を継続するためには？

A今後も川津南の持ち味であるコミュニティ力を生かして、子どもからお年寄りまでみんなでこの地域と伝統行事を守っていききたいと思います。



川津南楽念仏保存伝承委員会 代表 立山 裕二さん

「元気な集落づくり応援団マッチング事業」のご紹介



草刈りや清掃など
集落環境の維持保全が
できない！

地域の
伝統行事等の継承が
できない！



そんな集落をお手伝いします！

愛媛県では、急速な高齢化と人口減少により、草刈りや水路の清掃など集落環境の維持保全や、お祭り、運動会など地域の伝統行事等の継承が困難になりつつある集落とボランティアで応援したい民間企業・大学等（応援団：34社・団体）を結びつける「元気な集落づくり応援団マッチング事業」を実施しています。ご要望があれば、県地域政策課までお問合せ下さい。



運動会のお手伝い



草刈りのお手伝い

* 詳細は、えひめ地域政策研究センターのHPをご参照ください。

愛媛の元気な集落づくり

検索

この情報誌の関係サイト／「えひめ地域づくり協働体」facebook

●発行／平成27年9月

●地域の活動情報の連絡先／この情報誌に関するお問合せ先

愛媛県企画振興部地域政策課

TEL 089-912-2261

メール chiikiseisak@pref.ehime.jp

(公財)えひめ地域政策研究センター

TEL 089-926-2200

メール info@ecpr.or.jp